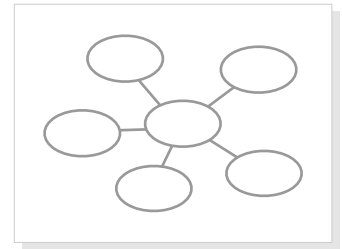


ウェビング

目的のために使うスキルと思考ツール

- ・根拠のある予想をするために**発想を広げる**
- ・「ウェビング」を使うと…



使い方

中心の問題（予想のテーマ）から関連するものを連想していくことで、発想を広げやすくなります。それを問題と関係付けることで、予想とその根拠が視覚的に見つけやすくなります。

考えを広げて予想の手がかりを探すために、ウェビングを使うときは、次のようにしましょう。

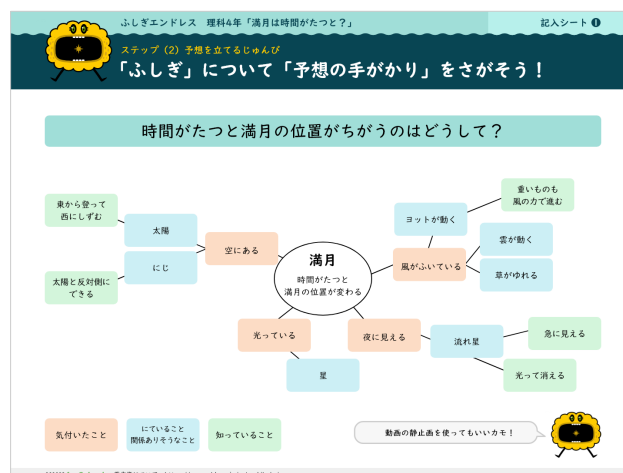
1. まず、中心の問題（予想のテーマ）について「気付いたこと」をテーマのすぐそばに書き出します。
2. 次に、テーマと「似ていること」「関係ありそうなこと」を連想して、カードに書き、テーマからつなげていきます。
3. さらに、「似ていること」「関係ありそうなこと」について「知っていること」をカードに書いて、発想のもととなったカードからつなげます。
4. 問題と似ていること、関係ありそうなことから連想したことの中から、予想の手がかりになりそうなものを探して、問題についての気付きと関係付けることで、予想とその根拠が見つけやすくなります。

〈注意〉何を書いたらよいのか悩むことなく、思いついたことをたくさん書き出していきましょう。

使用例 【満月が見える位置が時間で違うのはなぜかを予想するとき】

1. まず、満月を時間をあけて見たときに「気付いたこと」を、中心の予想のテーマに近いところにピンクのカードで書き出します。
2. 次に、満月に「似ていること（空にあるもの、夜に見えるもの、光るものなど）」や「関係ありそうなこと（風などの周りの状況など）」を連想して、青のカードに書いて、テーマからつなげます。
3. さらに、2で連想したことについて「知っていること」を緑のカードに書いて、つなげます（これまでの経験などからも思い出してみましょう）。
4. 満月について気付いたことと、似ていることなどから連想したことについての知識を結び付ける（関係付ける）ことで、予想とその根拠が見つかります。

例：満月と同じように空にある雲が風で流されるのと結び付けると、満月も風で動くのかも



※やるキットの記入例